

■石丸典生 中部支部名誉顧問、 ご逝去

石丸典生（いしまる・つねお）株式会社デンソー元顧問が5月11日、ご逝去されました。満92歳でした。1928年7月、三重県生まれ。デンソーの社長・会長を退任された後も、愛知県発明協会会長、名古屋市科学館長などを歴任されつつ地域の若手科学者育成や工学の普及に尽力され、日本工学アカデミーを産業界から牽引する存在でした。

ご家族のご意向により忌明けを待ってから情報公開となりました。ご逝去の報に接し、日本工学アカデミー中部支部運営委員会からの追悼の言葉が、中部支部Webサイトに掲載されています。「威張らず、飾らず、怒らず、明るく、楽しく、世のため、人のため、慈愛に満ちたお人柄」を偲ぶ声が、委員の間で交わられています。長年にわたるご指導に敬意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



左から原副支部長、林支部長、石丸名誉顧問、太田副支部長
(2016年11月23日、中部支部設立祝賀会にて)

■シンガポールのコロナ対策、 体感中



コロナ禍の6月にシンガポールに入国し、長いホテル隔離を終え、これから8ヶ月間、Singapore University of Technology and Design (SUTD) で研究生生活を送ります。

デルタ株拡大により7月末から1ヶ月間、再び外での飲食禁止、会える人数は最大2名という厳しいルールを強いられています。

“Fine（罰金）City”のシンガポール。マスク着用違反は罰金約2万4千円。重い違反は最大で禁固6ヶ月、罰金80万円。街ではSafe-distancing ambassadorsが常に監視。

TraceTogetherという追跡アプリまたはトークン（3x5cm小型端末）所持が義務付けられ、職場・学校・スーパーなどすべての入口でSafeEntryシステムに行動記録します。帰宅した自宅でもピピッとかざす習慣です。今年3月時点で普及率90%。接触の特定・検疫は1.5日未滿に短縮されたそうです。

先日、通商産業相、財務相、保健相が共同でエンデミック対応ロードマップを発表しました。“打ち勝つ”や“終息”ではなく、コロナ共存を前提にビジネスや観光の再開が計画されています。バブルラップ方式の国際会議場 & ホテルConnect@Changiも空港隣接地に開業し、隔離期間を設けず非接触でビジネス交流する試みが始まっています。アイデアと実行スピードに驚きとドキドキの毎日です。

(名城大学/川澄未来子)

■第1回EAJC井戸端会議、 開催報告



日本工学アカデミー中部支部（EAJC）は、初めてのオンライン井戸端会議を6月30日に開催しました。平日18時から約1時間。第1回は運営委員を中心に、まずはトライアル。ワクチン接種の話題に始まり、工学は科学より評価が低い？、ゲームチェンジャー狙い？それとも2番手で充分？、世界に対して遠慮深い三河人気質、スポーツ・アート界にあって学問・産業界に足りないコト等々、気楽に気ままにおしゃべりタイムをご一緒しました。コロナ前の講演会後の懇親会が戻ってきたかのようです。次回は参加者を拡げ、今後も定期的に開催します。ぜひご参加ください！

(日本工学アカデミー中部支部 企画推進部会/
足立吉隆・伊藤みほ・川澄未来子)

